

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 7 日

事務事業名		思春期教育事業				事業区分		担当	
						新規/継続		事務事業No. 010203000341	
						単独/補助		040401	
政策体系		政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進				市長マニフェスト		健康推進課	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				未来PJ事業		グループ	
施策名		02 健康づくりの推進				合併建設計画事業		母子グループ	
手段名		03 ③母子支援体制の充実				事業期間			
		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (年度~)			
予算科目		一般会計				母子衛生事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
会計		科目							
01		04							
01		01							
01		03							
00									
法令根拠		母子保健法							

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市内の小中学生に心身の発達や性に関する正しい知識の普及を図ること で、命の尊さを学ぶとともに、性行動に伴う危険(リスク)について正しく理 解し、若年層の望まない妊娠や出産を予防する。	<ul style="list-style-type: none"> 内容の検討、資料作成、日程の調整 学校との事前打合せ、表現方法等の確認 赤ちゃん人形や妊婦ジャケットなどの事前準備 講演、指導 実績のまとめ

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 内容の検討、日程調整 資料作成 学校との事前打ち合わせ、内容などの確認 赤ちゃん人形や妊婦ジャケットなどの事前準備 当日の運営(赤ちゃんのお世話体験、妊婦体験) 実績まとめ 	思春期教育の実施回数	回	3.00	4.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
桜川市内の小中学生	桜川市内の小中学校	校	16.00	16.00	14.00	14.00	14.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
思春期にある子どもが、自分がかげがえのない大切な存在である事を認識することにより、自分や他者をも大切に、性の自己決定能力を高める。	思春期教育の実施人数	人	188.00	215.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	0	0	0
	事業費計(A) 千円	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数 人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間 時間	250.00	250.00	250.00	
	人件費計(B) 千円	731	731	731	
トータルコスト(A)+(B) 千円		731	731	731	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	合計		0			0

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	思春期教育事業	事務事業No.	10203000341	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

H25年度児童虐待防止対策緊急強化事業の一環として、市内の小中学校の養護教諭と共に事業を進めていった。市と一緒に事業をするのは、学校側も数年なかったので外部講師が入ることで、学習内容の幅が広がり伝えられることが増えた。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

養護教諭より、継続して市と連携してやっていきたいと要望があった。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

小中学校の養護教諭と連絡を取り合い、全学校での思春期教育の実施を目指していく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	生徒自身が自分を大切にできる自己肯定感をもち、大人になり困難な事が生じても強く前向きに生きていくことが出来る。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	学校と市が連携することで、よりよい性教育の充実が図れる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市内小中学校の性教育の統一が図れるよう全校への導入を目指す。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	命の大切さを普及できる機会がなくなる可能性がある。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないため統廃合不可能。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	職員で対応しているので削減の余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	市内の一部の小中学校での実施であるため、全学校での導入を目指す。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	対象者より命の尊さや性に関して学ぶことが出来て良かったとの声が聞かれている。市内一部の小中学校での実施であるため、全学校での実施を目指す。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>